

平成 18 年度 長崎県福祉教育セミナー実施要項

1. 日時・会場

- (1) 平成 19 年 1 月 17 日(水)10:00～17:00 峰地区公民館(対馬市峰町三根 451 TEL0920-83-0301)
- (2) 平成 19 年 1 月 18 日(木)10:00～17:00 ホテルセントヒル長崎(長崎市筑後町 4-10 TEL095-822-2251)

2. 対象者 約 300 名(各会場 150 名程度)

- (1) 幼・小・中・高・大学及び盲・ろう・養護学校等教職員及び P T A 関係者
- (2) 教育委員会関係及び福祉行政関係職員
- (3) 社会福祉協議会職員
- (4) 社会福祉施設職員・社会教育施設職員
- (5) 民生委員児童委員、その他福祉教育推進団体、ボランティア関係団体、グループ等職員等

3. 主催 長崎県社会福祉協議会

4. 共催 長崎県教育委員会

5. 後援

長崎県・長崎市教育委員会・対馬市教育委員会・長崎県国公立幼稚園協会・長崎県校長会・長崎市小・中学校長会・対馬市校長会・長崎県高等学校長協会・長崎県盲・ろう・養護学校長会・長崎県公民館連絡協議会・長崎県 P T A 連合会・長崎市 P T A 連合会・対馬市 P T A 連合会・長崎県公立高等学校 P T A 連合会・長崎県保育協会・長崎県市町社会福祉協議会連絡協議会・長崎市社会福祉協議会・対馬市社会福祉協議会・長崎県社会福祉施設経営者協議会・長崎県老人福祉施設協議会・長崎県社協身体障害児者施設協議会・長崎県社会福祉協議会知的障害児者施設協議会・長崎県社会福祉協議会児童養護施設協議会・長崎県社協授産施設協議会・長崎県在宅介護支援センター協議会・対馬市老人福祉施設協議会・長崎県民生委員児童委員協議会・対馬市民生委員児童委員協議会連合会・長崎県福祉教育推進委員会

6. ねらい

福祉教育の目的は、児童・生徒や地域住民が福祉教育を通して、福祉の心を育み、また、福祉に関心を持ち、福祉の問題や生活の課題を解決する能力を育むなど「ともに生きる力」を育成するとともに、真のふれあいのあるまちづくりを進めることにあります。

今回は、福祉教育の連携のあり方、自己形成評価(振り返りのあり方)について、また、学校・公民館・地域等における福祉教育(ふれあい学習)のあり方について協議し、よりよい福祉教育の推進方策を考えていただくこととしました。

7. テーマ 『福祉教育・ふれあい学習の推進方法と評価の視点について』

8.日程

【対馬市会場】 1月17日(水)10:00~17:00 峰地区公民館

- (1) 10:00~10:15 **開会行事**(2F講堂)
 ・あいさつ(主催者・共催者)
 ・オリエンテーション
- (2) 10:15~11:55 **テーマ対談**『福祉教育・ふれあい学習の推進方法と評価の視点について』(2F講堂)
 コーディネーター 日本福祉大学助教授 原田 正樹 先生
 対談者 3名
 ○対馬市立塩浦小学校校長 野口 一徳(福祉教育の自己形成評価「振り返り」の実践研究)
 ○対馬市立西部中学校教諭 阿比留圭嗣(福祉教育の「連携」の実践研究)
 ○佐世保市社協宇久支所長 小柳津仁子(「ふれあい学習」の実践研究)
- (3) 12:00~12:50 **昼食**(2F講堂)
- (4) 13:00~15:20 **分科会**(グループ討議で行います。)

(敬称略)

分科会	協議テーマ	司会者	記録者	指導助言者
第1 (1F 研修室 1・2)	福祉教育の連携はどうあるべきか。	○対馬市立厳原小学校 教頭 松村 義弥	○対馬市立鶏知中学校 教諭 加藤 恵 ○対馬市立仁田中学校 教諭 百合野寿美子	○長崎ウエスレヤン大学 教授 中野 伸彦 ○県教育委員会義務教育課指導主事 本多 ひとみ
第2 (支所 2F会議室)	福祉教育の自己形成評価(振り返り)はどうあるべきか。	○対馬市立鶏鳴小学校 教頭 近藤 徳雄	○対馬市立厳原小学校 教諭 原田 はつみ ○対馬市立久田小学校 教諭 今井 美樹	○活水女子大学 教授 徳永 幸子 ○県教育委員会義務教育課指導主事 末永 統子
第3 (2F講堂)	子どもの学びを中心とした「ふれあい学習」はどうあるべきか。	○対馬市社会福祉協議会 事務局長 中島 秀隆	○対馬市社会福祉協議会上対馬支所 主査 片山 聡 ○対馬市社会福祉協議会地域福祉班 主事 長郷 康明	○雲仙市社会福祉協議会国見事務所事務次長 松井 喜八郎 ○県教委生涯学習課 指導主事 六山 和弘

計画(含指導助言者)が変更になることがありますので、御承知ください。

- (5) 15:30~16:50 **講演**(2F講堂)
 演題:『福祉教育・ふれあい学習の推進方法と評価の視点について』
 講師:日本福祉大学助教授 原田 正樹 先生
- (6) 16:55~17:00 **閉会あいさつ**(2F講堂)

- (1) 10:00~10:15 **開会行事**(2F 妙見の間)
 ・あいさつ(主催者・共催者)
 ・オリエンテーション
- (2) 10:15~11:55 **テーマ対談**『福祉教育・ふれあい学習の推進方法と評価の視点について』
 (2F 妙見の間)
 コーディネーター 日本福祉大学助教授 原田 正樹 先生
 対談者 3名
 ○長崎市立土井首小学校教諭 上村 智(福祉教育の自己形成評価「振り返り」の実践研究)
 ○県立西彼杵高等学校教諭 松尾 嘉信(福祉教育の「連携」の実践研究)
 ○大村市社協事務局長 野中 照明(「ふれあい学習」の実践研究)
- (3) 12:00~12:50 **昼食**(3F あじさいの間)
 ・軽昼食を兼ねたランチセッションを行う。昼食代 1,000円
- (4) 13:00~15:20 **分科会**(グループ討議で行います。)

(敬称略)

分科会	協議テーマ	司会者	記録者	指導助言者
第1 (2F 絹笠)	福祉教育の連携はどうあるべきか。	○県立大村城南高等学校 教諭 下田 かおる	○県立野母崎高等学校 教諭 松下 明雄 ○県立長崎明誠高等学校 教諭 伊藤 雅子	○長崎ウエスレヤン大学 教授 中野 伸彦 ○県教育委員会高校教育課指導主事 靄田 圭子
第2 (2F 妙見の間)	福祉教育の自己形成評価(振り返り)はどうあるべきか。	○長崎市立高島小学校 教頭 高木 久人	○長崎市立日見小学校 教諭 元松 邦仁 ○長崎市立西町小学校 教諭 森本 克城	○長崎純心大学 助教授 宮脇 文恵 ○県教育委員会義務教育課指導主事 末永 統子
第3 (1F 出島)	子どもの学びを中心とした「ふれあい学習」はどうあるべきか。	○長崎市社会福祉協議会地域福祉課ボランティア室 室長 西 昭貞	○長崎市社会福祉協議会 主事 高比良 隆磨 ○長崎市社会福祉協議会 主事 吉川 耕平	○雲仙市社会福祉協議会 事務局長 島田 勤 ○県教育委員会生涯学習課指導主事 竹村 浩明

計画(含指導助言者)が変更になることがありますので、御承知ください。

- (5) 15:30~16:50 **講演**(2F 妙見の間)
 演題:『福祉教育・ふれあい学習の推進方法と評価の視点について』
 講師:日本福祉大学助教授 原田 正樹 先生
- (6) 16:55~17:00 **閉会あいさつ**(2F 妙見の間)

9 . 参加費 1,000円

参加申し込み者には、後日、「振込通知書」(振込先：十八銀行本店又は親和銀行長崎支店)を送付いたします。その通知書により参加費をお振り込みください。両銀行がないところは、当日会場で納入ください。なお、参加費振込み後、参加の取り消しをされた場合、参加費の返金はできませんので、御了承ください。ただし、その場合は当日配布の資料を送付いたします。

10 . ランチセッション(軽昼食及び弁当)について

長崎会場は、軽昼食を兼ねてランチセッションを行います。その際、各所属の情報交換を行いますので、資料等がございましたら、是非御持参いただき、参加者に御提供ください。なお、ランチ費用は1,000円です。対馬会場は、会場の都合で昼食弁当となります。弁当代はお茶付き700円です。

11 . 参加申込方法について

別紙様式により、下記宛、平成18年12月28日(木)までにFAX又は郵送にてお申し込みください。

12 . 申込先

〒850-0862 長崎市出島町2番11号 出島交流会館5F 県民ボランティア活動支援センター内
長崎県社会福祉協議会地域福祉部ボランティア振興課 (担当/下条)
FAX(095)827-4862 TEL(095)827-4872